

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2000-315096 (P2000-315096A)

【公開日】平成 12 年 11 月 14 日 (2000.11.14)

【出願番号】特願 平 11-161474

【国際特許分類第 7 版】

G 1 0 L 15/22

G 0 1 C 21/00

G 0 8 G 1/0969

G 1 0 L 15/00

G 1 0 L 15/28

【F I】

G 1 0 L 3/00 5 7 1 T

G 0 1 C 21/00 H

G 0 8 G 1/0969

G 1 0 L 3/00 5 5 1 Q

G 1 0 L 3/00 5 6 1 H

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 5 月 6 日 (2004.5.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 又は 2 以上の処理機能を有し、音声を情報伝達媒体として対話的に前記一の処理機能の動作を行う音声認識装置を備えたマンマシンシステムにおいて、
 前記各処理機能毎に対応付けられた制御語を予め備え、前記一の処理機能を提示した後、前記提示に応じて前記一の処理機能を指定する指令情報を有する音声入力情報が外部より入力されると、前記音声入力情報を認識し、前記指令情報に対応する前記制御語に基づいて、前記一の処理機能の動作を行う制御部を具備することを特徴とする音声認識装置を備えたマンマシンシステム。

【請求項 2】

前記制御語は、前記処理機能の動作を起動させる制御命令語と、前記制御命令語の被処理対象を示す制御対象語との組み合わせで構成され、
 前記制御部は、前記制御対象語と制御命令語を示した前記指令情報を有する前記音声入力情報が外部より入力されると、前記指令情報に対応する前記制御対象語と制御命令語から成る前記制御語に基づいて、前記処理機能の動作を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の音声認識装置を備えたマンマシンシステム。

【請求項 3】

前記制御語は、前記処理機能の動作を起動させる制御命令語と、前記制御命令語の被処理対象であって前記音声入力情報に含まれた前記指令情報によって設定される制御対象語との組み合わせで構成され、
 前記制御部は、前記制御対象語の指令情報を有する前記音声入力情報が入力された後、前記制御命令語の指令情報を有する前記音声入力情報が入力されると、前記制御対象語と前記制御対象語から成る前記制御語に基づいて、前記処理機能の動作を行うことを特徴とす

る請求項 1 に記載の音声認識装置を備えたマンマシンシステム。

【請求項 4】

前記制御対象語は、前記音声入力情報により外部入力された語彙であり、前記制御命令語は、前記語彙を少なくとも訂正するための命令語彙であることを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の音声認識装置を備えたマンマシンシステム。

【請求項 5】

1 又は 2 以上の処理機能を有し、音声の情報伝達媒体として対話的に前記一の処理機能の動作を行う音声認識装置を備えたマンマシンシステムにおいて、
予め複数の照合情報を記憶した記憶部と、前記音声にて入力される音声入力情報と前記記憶部に記憶されている前記照合情報とを照合して、所定の類似度基準より類似度の高い 1 又は複数の照合情報を認識情報として保持する認識結果保持領域と、前記各処理機能毎に対応付けられた制御語とを有する制御部とを具備し、
前記制御部は、前記一の処理機能を提示した後、前記提示に応じて前記一の処理機能を指定する指令情報を有する音声入力情報が外部より入力されると、前記指令情報に対応する前記制御語に基づいて、前記認識結果保持領域中に保持している前記認識情報に対して前記一の処理機能の動作を行うことを特徴とする音声認識装置を備えたマンマシンシステム。

【請求項 6】

前記認識情報は、話者の発話した語彙から成る前記音声入力情報を前記照合情報との照合により得られる 1 又は複数の語彙情報であり、
前記制御語は、前記語彙情報を訂正する指令情報であることを特徴とする請求項 5 に記載の音声認識装置を備えたマンマシンシステム。

【請求項 7】

前記語彙情報を訂正する制御情報は、前記 1 又は複数の語彙情報の一を指定して訂正する制御情報であることを特徴とする請求項 6 に記載の音声認識装置を備えたマンマシンシステム。

【請求項 8】

前記語彙情報を訂正する指令情報は、前記 1 又は複数の語彙情報を順次に次候補選択して訂正する制御情報であることを特徴とする請求項 6 に記載の音声認識装置を備えたマンマシンシステム。

【請求項 9】

前記制御語は、前記処理機能に相当する訂正の動作を起動させる制御命令語と、前記制御命令語の被処理対象となる前記語彙情報に相当する制御対象語との組み合わせで構成される前記指令情報であり、
前記制御部は、前記指令情報を有する前記音声入力情報が外部より入力されると、前記指令情報に対応する前記制御対象語と制御命令語から成る前記制御語に基づいて、前記訂正の動作を行うことを特徴とする請求項 6 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の音声認識装置を備えたマンマシンシステム。

【請求項 10】

前記記憶部は、前記複数の照合情報を上位概念の属性から下位概念の属性の範疇に複数の分類した階層化構造に基づいて記憶すると共に、前記話者の発話した語彙から成る前記音声入力情報を保持する情報保持部を備え、
前記制御部は、前記 2 以上の属性に対応する前記処理機能を提示して、前記提示に応じて前記 2 以上の属性に該当する前記語彙を各属性毎の前記認識情報として前記認識結果保持領域に記憶した後、前記指令情報により上位概念の属性の前記認識情報の訂正が指令されると、前記上位概念の属性の前記認識情報の訂正処理を行うと共に、前記情報保持部に保持されている前記上位概念より下位概念の属性の前記音声入力情報を、前記記憶部に記憶されている前記上位概念に従属する下位概念の属性の前記照合情報と照合して、所定の類似度基準より類似度の高い 1 又は複数の照合情報を認識情報として再度前記認識結果保持領域に保持することを特徴とする請求項 6 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の音声認識装置を

備えたマンマシンシステム。

【請求項 1 1】

前記制御部は、前記音声入力情報を再度照合させる際に、前記音声入力情報を、前記下位概念の認識情報の属性に属する照合情報であって、前記下位概念の認識情報と同一の照合情報を除外した照合情報とを照合させることを特徴とする請求項 1 0 に記載の音声認識装置を備えたマンマシンシステム。

【請求項 1 2】

前記記憶部は、前記複数の照合情報を上位概念の属性から下位概念の属性の範疇に複数の分類した階層化構造に基づいて記憶すると共に、前記話者の発話した語彙から成る前記音声入力情報を保持する情報保持部を備え、

前記制御部は、前記 2 以上の属性に対応する前記処理機能を提示して、前記提示に応じて前記 2 以上の属性に該当する前記語彙を各属性毎の前記認識情報として前記認識結果保持領域に記憶した後、前記指令情報により下位概念の属性の前記認識情報を順次に次候補選択して訂正する訂正が指令されると、次候補選択した認識情報を新たな認識情報として提示することを特徴とする請求項 8 に記載の音声認識装置を備えたマンマシンシステム。

【請求項 1 3】

前記音声認識装置を備えたマンマシンシステムは、ナビゲーションシステムであることを特徴とする請求項 1 ~ 1 2 のいずれか 1 項に記載の音声認識装置を備えたマンマシンシステム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 1】

また、前記制御語を、前記処理機能の動作を起動させる制御命令語と、前記制御命令語の被処理対象であって前記音声入力情報に含まれた前記指令情報によって設定される制御対象語との組み合わせで構成し、前記制御部が、前記制御対象語の指令情報を有する前記音声入力情報が入力された後、前記制御命令語の指令情報を有する前記音声入力情報が入力されると、前記制御対象語と前記制御対象語から成る前記制御語に基づいて、前記処理機能の動作を行う構成とした。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 8】

また、前記制御語を、前記処理機能に相当する訂正の動作を起動させる制御命令語と、前記制御命令語の被処理対象となる前記語彙情報に相当する制御対象語との組み合わせで構成される前記指令情報とし、前記制御部を、前記指令情報を有する前記音声入力情報が外部より入力されると、前記指令情報に対応する前記制御対象語と制御命令語から成る前記制御語に基づいて、前記訂正の動作を行う構成とした。